



あべともこニュース

セクハラ政権は退陣を！国会審議しながらでは正せない安倍体質

◆セクハラ放置大臣は辞任すべき

財務事務次官がテレ朝の女性記者と食事をしてセクハラ発言を繰り返した問題は、終わっていません。

上司である麻生太郎・財務大臣もまた、部下の福田前事務次官を処分することなく、問題を追及する記者に対して、暴言を吐き続けています。

・「福田の人権は『なし』ってわけですか」
・「次官担当を男性記者に代えればいい」
・（記者に）「ハメられて訴えられているんじゃないかとかご意見はいっぱいある」
云々、事実を認めようとすらしていません。

下村博文・前文科大臣に至っては、講演で「確かに福田事務次官はとんでもない発言をしたかもしれないけど、そんなの隠しとっておいて、テレビ局の人が週刊誌に売ること自体が、はめられてますよね。ある意味、犯罪だと思っ」とすら指摘しました。

セクハラを認めず、放置する体制に終止符を打つには、麻生大臣の辞任しかありません。



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川 12 区（藤沢市・寒川町）
当選 7 回、東京大学医学部卒業、
小児科医、あべともこどもクリニック（湘南台）理事長
現在、内閣委員会筆頭理事・予算委員会委員



https://twitter.com/abe_tomoko



<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索

あべともこと共に歩む会後援会入会のご案内及びボランティアスタッフ募集中！

特定の企業や団体などに依存しないあべともこの活動は、後援会の年会費やカンパによって支えられています。あべともこの活動にご支援頂ける方は、お気軽に事務所にお問い合わせください。

立憲民主党神奈川県連

〒231-0012

横浜市中区相生町 4-69-4F

TEL 045-228-8591

FAX 045-228-8592

このセクハラ案件では、国家公務員法99条の「信用失墜行為の禁止」に当たると判断され、処分が下り、福田局長本人と、その他の幹部職員にもセクハラ防止研修を受講させるとされていますが、財務省も厚生省も公僕としての緊張感がありません。信用失墜行為どころか、国民への裏切りです。

こんな中で、働き方改革法案の審議を進めることは許されません。

このセクハラ案件では、国家公務員法99条の「信用失墜行為の禁止」に当たると判断され、処分が下り、福田局長本人と、その他の幹部職員にもセクハラ防止研修を受講させるとされていますが、財務省も厚生省も公僕としての緊張感がありません。信用失墜行為どころか、国民への裏切りです。

こんな中で、働き方改革法案の審議を進めることは許されません。

このセクハラ案件では、国家公務員法99条の「信用失墜行為の禁止」に当たると判断され、処分が下り、福田局長本人と、その他の幹部職員にもセクハラ防止研修を受講させるとされていますが、財務省も厚生省も公僕としての緊張感がありません。信用失墜行為どころか、国民への裏切りです。

こんな中で、働き方改革法案の審議を進めることは許されません。

このセクハラ案件では、国家公務員法99条の「信用失墜行為の禁止」に当たると判断され、処分が下り、福田局長本人と、その他の幹部職員にもセクハラ防止研修を受講させるとされていますが、財務省も厚生省も公僕としての緊張感がありません。信用失墜行為どころか、国民への裏切りです。

こんな中で、働き方改革法案の審議を進めることは許されません。

このセクハラ案件では、国家公務員法99条の「信用失墜行為の禁止」に当たると判断され、処分が下り、福田局長本人と、その他の幹部職員にもセクハラ防止研修を受講させるとされていますが、財務省も厚生省も公僕としての緊張感がありません。信用失墜行為どころか、国民への裏切りです。

こんな中で、働き方改革法案の審議を進めることは許されません。

このセクハラ案件では、国家公務員法99条の「信用失墜行為の禁止」に当たると判断され、処分が下り、福田局長本人と、その他の幹部職員にもセクハラ防止研修を受講させるとされていますが、財務省も厚生省も公僕としての緊張感がありません。信用失墜行為どころか、国民への裏切りです。



伊藤詩織さんが被害の実態を描いた「ブラックボックス」

◆首相の友レイプ逮捕状も消し

安倍政権下におけるセクハラの際の事件は、安倍首相の友達である山口敬之・元TBSワシントン支局長の伊藤詩織さんレイプ事件です。準強姦罪容疑で逮捕状が出たにもかかわらず、中村格（いたる）警視庁刑事部長（当時）が突然、執行を止めました。

事件後、中村氏は警察庁刑事局組織犯罪対策部長へと昇進しています。このようなセクハラ放置・容認人事は安倍政権のそのものです。そのトップは即刻責任を取って、退陣をすべきです。

事件後、中村氏は警察庁刑事局組織犯罪対策部長へと昇進しています。このようなセクハラ放置・容認人事は安倍政権のそのものです。そのトップは即刻責任を取って、退陣をすべきです。

事件後、中村氏は警察庁刑事局組織犯罪対策部長へと昇進しています。このようなセクハラ放置・容認人事は安倍政権のそのものです。そのトップは即刻責任を取って、退陣をすべきです。